

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)  
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行います。  
受講希望者は、下記の連絡先までお問い合わせください。

## 記

講師：医療法人社団 顕歯会 デンタルみつはし 院長  
日本大学客員教授  
三橋 純 先生

演題：根管治療前後の処置の重要性を検討する  
日時：令和5年3月2日(木)17:00~19:00  
場所：特別講堂 (D棟・歯科外来事務棟 4F)

抄録：根管治療の成否には根管治療前後の診査診断、処置が確実に行われているか否かが大きな影響を及ぼす。つまり歯髄診断と温存療法、歯質を保存することを目的にしたメタルコアの除去、フェルールを確保するためのエクストルージョン及び歯冠長延長術、う蝕の確実な除去と隔壁の作成、辺縁封鎖を困難にしてしまう隣在歯の近心傾斜を防ぐためのテンポラリークラウンの装着などである。また、成功した根管治療を維持するための再感染を防ぐ支台築造、補綴装置の辺縁適合性の確保も重要である。本講演では、顕微鏡を日常的に使用している歯髄生物学分野の歯科医師だからこそ再認識してほしい根管治療前後の処置について、顕微鏡下映像を供覧、解説し、その重要性を検討したい。

連絡先：川島 伸之 (歯髄生物学分野 内線 5494)

e-mail: kawashima.n.endo@tmd.ac.jp